

寺田校長の広聴・高調コミュニティ広場

今年度から「じんせきっ子 すばらしいで賞」という表彰をしています。年に一度、全員の子供たちのすばらしいところを全校児童の前で表彰し、本人の良さをほめたたえとともに、一人一人の良さを全校の子供たちにも広めようというものです。右の写真は、私の手作りのメダルで、「すばらしい」にちなみ、真ん中に折バラを付けています。駄洒落ですね。



神石高原中学校区では、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を三つ設定しています。「主体性」「コミュニケーション能力」「アイデンティティ」です。この度の「じんせきっ子 すばらしいで賞」は、「アイデンティティ」に関わります。「アイデンティティ」とは自己認識のことで、自己を形成するもの、例えば、夢や目標、長所・短所、得意・不得意、家族、地域のよさなど、自分に影響を与えるものを自身が認識していることです。そして、これらのものが自分の将来決定や夢の実現のためのエネルギー源になるのです。自分の良いところがわかると、うれしくなります。そして、これからの自信につながります。

さて、先日、第1回の「じんせきっ子 すばらしいで賞」を行いました。当然のことながら、一人一人の素晴らしいところは違います。今回表彰した子供たちの素晴らしいところは、「困っている人を手伝うやさしさ」「気づいて行動する力」「友達をフォローする力」「思いやりの心」「自ら行動する力」「周りのことを考えた行動力」でした。こうしてみると、神石小の子供たちは心のやさしい子が多いことが分かります。保護者や地域の皆様に育てていただいていることがよくわかります。やさしい心、相手を思いやる心が育つと、お互いの信頼や力が伸びていきます。38人全員で神小を盛り上げられるよう、職員一同、指導に力を入れてまいります。これからあと32人の子供たちの良さを全校児童に広める機会を設定していきます。ほめて伸ばす教育を学校でも家庭でも地域でも共有できたらと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

